

環水土第050629004号
平成17年6月29日

都道府県知事 殿

環境省環境管理局水環境部長

「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律における法定受託事務の処理基準について」の改正について（通知）

三位一体補助金改革に伴う環境監視に係る国の補助制度の廃止等の状況を受け、地方自治法第245条の9第1項及び第3項に基づき、「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律における法定受託事務の処理基準について」（平成12年11月16日付け環水土第224号環境庁水質保全局長通知。以下「処理基準」という。）の一部を、別紙のとおり改正することとしたので、通知する。

各都道府県におかれては、改正後の処理基準に基づき、環境監視の地点、頻度等に関して、引き続き適正な監視水準が確保されるよう留意ありたい。

追記：三位一体改革に伴う今後の農用地の土壌の特定有害物質による汚染の状況の監視について、平成17年6月24日に開催された中央環境審議会土壌農薬部会において議論いただいたところ、概ね従来処理基準通りに、都道府県が法定受託事務として常時監視すればよいとされた。ただし、補助金交付要綱等を廃止したことに伴い必要となった変更点等について、別紙のとおり改めることとされた。

(別紙)

1(1) 2(1) 4) (別添1) 1(2) イ(エ)並びに同様式第1の別紙1及び別紙2、(別添2)様式第2の別紙2、(別添3)様式第3の別紙1、別紙2及び別紙3並びに(別添4)2(1)を次のように改める。

1. 定義

(1) 法第11条の2の「常時監視」とは、都道府県自身が実施するものに限らず、市町村等他の行政機関が調査(「2. 調査」に掲げる調査をいう。(2)において同じ。)を行ったものを基にその区域内の農用地の土壌の汚染の状況、農作物の生育状況等を把握、分析し、その結果を取りまとめるものを含み、そのすべてが環境大臣への報告の対象となる。

2. 調査

(1) 調査の種類

4) クロスチェック調査

細密調査及び対策地域調査における分析の精度を確保するために都道府県及び環境省が同一の土壌及び農作物等について行う分析測定調査

(別添1) 細密調査実施細則

1. 調査の種類

(2) 精密調査

イ 調査の方法

(エ) 測定方法

特定有害物質については、「カドミウムに係る検定省令」、「銅に係る検定府令」及び「砒素に係る検定府令」により測定するものとし、その他については、「地力保全基本調査における土壌分析法(昭和34年8月農林省振興局発行、地力保全対策資料1号)」、「土壌保全対策事業における重金属類の分析法について(昭和46年8月農林省農政局発行、地力保全対策資料36号)」及び「土壌及び農作物等中の水銀等の分析法(昭和48年環境庁水質保全局長)」により測定するものとする。

様式第 1

別紙 1

概況調査結果（ 地域 ）

1. 地域の所在地
2. 調査対象農用地面積
水田(ha) 畑地(ha) 樹園地(ha) 計(ha)
3. 調査地域の概要
 - (1) 地域の概況
 - (2) 土地条件
 - (3) 土壌条件
 - (4) 水利状況
 - (5) 農作物等の生育状況
 - (6) 特定有害物質及び汚染物質
 - ア 名称
 - イ 汚染の由来（汚染源、汚染形態、現在までの経過等）
 - (7) 農作物等の汚染及び生育阻害に対してとられている対策とその効果
 - (8) その他、土壌の汚染の状況、農作物等の汚染の状況、農作物等の生育阻害の状況を把握するために必要な事項

1. 土 壌 及 び 農 作 物 等 分 析 結 果 一 覧 表

区分	調査ほ場番号		1	2	3	4
	項	目				
土 壤 (0 ~ 15 cm)	特汚 定染 有害 物 質質	Cd (ppm)				
		Cu (")				
		As (")				
		(例) Zn (")				
		(") Pb (")				
		(") PCB (")				
農 作 物 等	名 称					
	水 分 (%)					
	特汚 定染 有害 物 質質	Cd (ppm)				
		Cu (")				
		As (")				
		(例) Zn (")				
		(") Pb (")				
(") PCB (")						
備 考						

(注)

1. 土壌中のCu及びAsについては、「銅に係る検定府令」及び「砒素に係る検定府令」によりそれぞれ

$$\frac{2C_1 + C_2 + C_3}{4} \quad \text{及び} \quad \frac{C_1 + C_2 + C_3}{3}$$

(C₁、C₂、C₃はそれぞれほ場の水口部、中央部及び水尻部のCu(A_s)濃度)の算式により算出した値を記入し、その他の物質については、ほ場の中央部の値を記入すること。

2. 農作物等中の濃度は、ほ場の中央部の値を記入すること。

3. 指定した分析法以外の方法で分析測定した場合は、備考にその旨を明記すること。

(別添2) 対策地域調査実施細則

様式第2

別紙2

調査観測地区調査結果 (地域ほ場番号)

土 壤

調査観測区番号 項 目		1		2		3		
		作付前	収穫時	作付前	収穫時	作付前	収穫時	
表 層 (0 ~ 15 cm)	(例)土 性							
	(例)土 色(湿)							
	(例)pH (H ₂ O)							
	(例)pH (KCl)							
	(例)塩基置換容量 (me)							
	特定有害物質 (ppm)	全 量						
		可溶性						
表 層 (15 ~ 30 cm)	(例)土 性							
	(例)土 色(湿)							
	(例)pH (H ₂ O)							
	(例)pH (KCl)							
	(例)塩基置換容量 (me)							
	特定有害物質 (ppm)	全 量						
		可溶性						
備 考								

- (注) 1 . 調査を継続して実施する場合には前年度までの調査結果についても併記すること。
 2 . この表は、調査ほ場番号ごとに作成すること。
 以下に同じ。

農作物等

調査観測区		3	
項目			
作柄の良否			
作柄に影響を与えた事項			
収穫期の遅速			
		日速い	日遅い
特定有害物質による生育阻害状況			
採取農作物量	可食部	(風乾・生)	g
	その他の部分	(風乾・生)	g
特定有害物質の含有量 (ppm)	可食部		
	その他の部分		
水分 (%)			
吸収された特定有害物質の量 (mg / 100g)			
備考			

水

河川名 用水名	採水地点	採水月日	水温 ()	pH	特定有害物 (ppm)			流量 m ³ /sec	備考
					Cd	Cu	As		
			1回目 2回目						

(注) 備考欄には降雨状況、用水利用状況、汚染源等を記入すること。

降下ばいじん

測定回数	試料の採取			降下ばいじん量 (mg/m ² /月)	特定有害物 質量 (mg/m ² /月)	降下ばいじん発生源からの距離 (km)
	測定開始 月日	試料採取 月日	測定日数 - 日			
1 回 目						
2 回 目						
3 回 目						
計 (年 間)						

(別添3) 解除地域調査実施細則

様式第3

別紙1

概況調査結果 (地域)

1. 地域の所在地
2. 調査対象農用地面積
水田 (ha)、畑地 (ha)、樹園地 (ha)、計 (ha)
3. 調査地域の概況
 - (1) 地域の概況
 - (2) 土地条件
 - (3) 土壌条件
 - (4) 水利状況
 - (5) 対策事業の実施状況
 - (6) 農作物等の生育状況
 - (7) 気象状況 (降水量、気温等)
 - (8) 汚染源及び対策の状況
 - (9) その他土壌の再汚染防止のために把握すべき事項
4. 調査ほ場の概況

調査ほ場番号			
項 目	1	2	
所 在 地			
一 般 概 況			
土 地 条 件			
土 壌 条 件			
水 利 状 況			
農 作 物 等 の 生 育 状 況			
特 定 有 害 物 質 に よ る 汚 染 状 況 (土 壌 、 農 作 物 等)			
備 考 (当 該 ほ 場 を 選 定 し た 理 由 等 を 記 入)			

(注) 「調査ほ場位置図」及び「水域概況図」を添付すること。

1. 土 壤 及 び 農 作 物 等 分 析 結 果 一 覧 表

区分	調査ほ場番号		1	2	3	4
	項	目				
土 壤 (0 ~ 15 cm)	特汚 定染 有害 物 質	C d (p p m)				
		C u (")				
		A s (")				
		(例) Z n (")				
		(") P b (")				
		(") P C B (")				
農	名 称					
	水 分 (%)					
作 物 等	特汚 定染 有害 物 質	C d (p p m)				
		C u (")				
		A s (")				
		(例) Z n (")				
		(") P b (")				
		(") P C B (")				
備 考						

(注)

1. 土壌注のCu及びAsについては、「銅に係る検定府令」及び「砒素に係る検定府令」によりそれぞれ

$$\frac{2C_1 + C_2 + C_3}{4}$$
 及び

$$\frac{C_1 + C_2 + C_3}{3}$$
 (C₁、C₂、C₃はそれぞれほ場の水口部、中央部及び水尻部のCu(A s)濃度)の算式により算出した値を記入し、その他の物質については、ほ場の中央部の値を記入すること。
2. 農作物等中の濃度は、ほ場の中央部の値を記入すること。
3. 指定した分析法以外の方法で分析測定した場合は、備考にその旨を明記すること。

2. 調査ほ場ごとの個表

() 土壌、農作物等

調査ほ場番号		地目	水田畑地 樹園地	作付作物名	品種名	生育状況	地域平均 収穫量 kg/a	調査ほ場 における 優 普 劣			
項目	位置	水 口		中 央		水 尻		備 考			
	層位	0 cm ~ 15 cm	15 cm ~ 30 cm	0 cm ~ 15 cm	15 cm ~ 30 cm	0 cm ~ 15 cm	15 cm ~ 30 cm				
土 壌 (採取月日)	調査項目	/		土色(湿)	黒 _↑ 青 _↑ 灰 _↑ 黄 _↑ 赤 _↑ 褐 _↑ 灰 _↑ 褐 _↑ 褐 _↑ 赤 _↑ 褐 _↑	"		/			
	腐植土性			"							
	pH (H ₂ O)			"							
	塩基置換容量 (me)			"							
	置換性石灰 (mg / 100g)			"							
	磷酸吸収係数			"							
	有効態磷酸 (mg / 100g)			"							
	特定有害物質及び汚染物質の濃度			Cd (ppm)	/		"		/		
				Cu (")	/		"		/		
				As (")	/		"		/		
Zn (")		/		"		/					
Pb (")		/		"		/					
PCB (")		/		"		/					
水分 (%)	/		"		/						
農作物等(土壌採取位置)	分析項目	/		作物名(状態)	"		/				
	特定有害物質及び汚染物質の濃度			Cd (ppm)	/						
				Cu (")	/						
				As (")	/						
				Zn (")	/						
				Pb (")	/						
				PCB (")	/						
	水分 (%)			/							

(注) 土色(湿)、腐植、土性については、地力保全基本調査における土壌分析法により、現地にて判定し該当するところを で囲むこと。

() 水

河川名 用水名	採水地点	採水月日	水温 ()	pH	特定有害物質 (ppm)			流量 (m^3/sec)	調査ほ場の減 水深 (mm/day)	備考
					C d	C u	A s			
		1 回 目								
		2 回 目								

(注) 備考欄には降雨状況、用水利用状況、汚染源等を記入すること。

() 降下ばいじん

測定回数	試料の採取			降下ばいじん量 ($mg/m^2/月$)	特定有害物質 量 ($mg/m^2/月$)	降下ばいじん 発生源からの距離 (km)	備考
	測定開始月日	試料採取月日	測定日数				
1 回 目							
2 回 目							
3 回 目							
計 (年間)							

(別添4) クロスチェック調査実施細則

2. 調査の方法

(1) 試料の送付

環境省環境管理局水環境部長が指定する調査対象地域について、当該地域ごとに土壌及び農作物等を各2点任意に選び、それぞれ四分法により当該都道府県等分析用と送付用に分け、送付用の試料を、水環境部長が指定する分析機関に毎年度、別に定める期日までに送付するものとする。なお、送付する分析のための試料の量は、土壌及び農作物等それぞれ1点につきおおむね200gとし、送付する際は、ビニール袋等に入れ、県名、調査対象地域名、調査ほ場番号及び採取位置（水口部、中央部、水尻部の別）を記入した荷札をつけるものとする。